

：；

第1回 神岡地域協議会 会議録

日 時 平成26年4月25日（金）
午後3時～
場 所 神岡庁舎3階 大会議室

出席委員（10名） 石山美恵子、今野公行、齊藤恵子、齊藤 劼、齊藤博伸、
齊藤由紀、佐々木徹、鈴木和栄、鈴木幸一、中村淑子

欠席委員（6名） 伊藤公仁、工藤昌子、黒川 茂、齊藤 亘、佐々木康浩
鈴木美保

1. 開 会 市民サービス課 参事 豊島久子

本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。
す。

ご案内いたしました時間になりましたので、ただ今から平成26年度
第1回神岡地域協議会を始めさせていただきます。

最初に鈴木会長がごあいさつ申し上げます。

2. 会長あいさつ 会長 鈴木 和栄

今日はお忙しい中ありあとでございます。26年度第1回目の協議
会であります。

今、農繁期で大きい農家にとっては種まきの時期ということもあり、
出席率が若干少なめです。この間、桜の木にもいろいろありまして、
種まき桜という桜がありということを始め知りました。その桜が咲
く頃種をまくということだそうです。当町では、姫神山の北側の斜面
の雪が消えまして、馬の形になったら種をまいてもいいということに
なっております。去年、見てみましたら、何となく馬の形になってお
りました。今日は1回目ということですが、市から久米副市長さんを
迎えて、是非少ない人数ながらひとつ皆さんからよろしく議論をお願
いいたします。

今日はまた、新しい職員体制ということで、これも初めてでござい
ますので、ひとつ顔を覚えて今後の活動に生かしていただきたいと思
います。よろしくお願いいたします。

3. 副市長あいさつ 大仙市副市長 久米正雄

副市長の久米でございます。どうぞよろしくお願い申し上げたいと
思います。平成26第1回神岡地域協議会の開催にあたりまして、一
言ご挨拶申し上げたいと思います。

4年連続の大雪もこのように終わりました。市役所の桜も今日、満

開を迎えました。今年の桜はもっと遅れるのではないかなと思われましたが、4月に入ってから、4月5日に若干雪だったんですが、それ以外はほとんど晴れて、雪もどんどん解けて、4月の8日頃には、田んぼの雪もほとんど消えたというような状況であります。それでも昨年よりは2日ほど遅かったようですけどもようやく春らしい季節になったところでございます。この春の到来とともにスタートしたこの26年度が、災害のない穏やかで希望に満ちた年であれば良いなと思っているところでございます。

さて、皆様ご承知のとおり、平成26年度は、大仙市が誕生してから10年目を迎える節目の年でございます。そしてまた、時を同じくして、8つの地域協議会が設置されてから10年目を迎えております。

委員の皆様には、これまで、市民と行政との協働によるまちづくりの推進の核としまして、地域課題を解決する仕組みづくりや、地域枠予算の活用その他、各種計画への意見、施策、事業に係る提言の取りまとめなど、地域の特色をいかした活発な活動を展開していただいております。この場をお借りして厚くお礼を申し上げたいと思います。

本日は、委員の皆様がお集まりの席でありますので、この場をお借りしまして、市のプロジェクトとして推進しております市街地再開発事業につきまして若干お話をさせていただきたいと思っております。

ご承知のとおり、この4月の14日に、大曲駅前で開催されている市街地再開発事業の北街区の竣工式が行われたところでございます。

大曲・仙北圏域住民の長年の願いでございました仙北組合総合病院が、名称も新たに「大曲厚生医療センター」として、5月の1日に開院する予定でございます。

最新鋭の設備と快適な医療環境が整いまして、地域の中核病院としてこれまで以上に、大きな役割を担うこととなります。今後は、今現在の病院が建っております南街区におきましても、事業が円滑に進捗できますように市といたしましても引き続き力を入れて参りたいと思っております。

最近、新聞等でも取り上げられておりますけれども、大仙市と大曲商工会議所、そして、大仙市商工会では、今年度から「花火産業構想」という新たな取り組みをスタートいたしましたところでございます。

この「花火産業構想」については、大仙市が誇る日本の最高峰の花火競技大会であります「大曲の花火」のブランド力を活用しまして、工業、観光、商業、農業、文化、教育などさまざまな分野にわたって地域を元気にしようとするこれまでにない新たな取り組みでございます。

この構想では、「資料館を建設して、花火の文化的価値を高め、後世に継承する取り組み」や「花火の発展に資する人材の育成」、「花火工場の建設」、そして、「花火を起点とした観光、商業、農業、文化などを振興する取り組み」この4つを柱としまして、さまざまな事業を展開して、地域経済に活力を与える活性化を目指すものでございます。

そしてまた、今年10月には、「第29回国民文化祭秋田2014」が開催される予定でございます。

大仙市では、市の主催事業といたしまして、囲碁文化の継承をめざす「囲碁サミット2014 in 大仙」、和の心によるおもてなしの空間をつく

る「国指定名勝仙北の池田氏庭園の秋の園遊会」、そして、戦後を代表する写真家の故木村伊兵衛氏の世界を見せる「秋田の美（び）×写真の力」の3つの事業を開催することとなっております。

加えまして、県民参加事業として、花火の過去・現在・未来を解説付きで40分間打ち上げる「伝統×挑戦 日本の花火 大曲の花火」、そして民謡大会の優勝者の皆さんが若い歌手への指導・継承の場とする「民謡継承祭典～民謡を次世代へ唄い踊り継ぐ～」の2つの事業が採択されておりまして、現在各団体で準備を進めているところでございます。

この国民文化祭を機会に、ふるさと大仙市の魅力ある自然、伝統、文化を県内外に発信できるように準備を進めてまいりたいと思っております。

また、本日はこの後、神岡地域における主な事業についても、ご説明する予定となっております。事業の推進に対しまして皆様からご支援をよろしくお願い申し上げます。

大仙市誕生10周年というこの記念すべき年を契機に、本市が新たなステージに向けてスタートできるように、こうした所要の取り組みを進めるとともに、市民との協働のまちづくりに一層努めて参りたいと思っておりますので、委員の皆様には、これまで以上のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本日の協議会が実りあるものとなり、一層の地域の発展に資する契機となりますことをご期待申し上げますとともに、皆様の益々のご活躍、ご健勝を心からご祈念申し上げますとさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

4. 職員紹介

神岡支所 支所長 伊藤利之
本庁職員、支所職員を紹介

事務局

この後、会議の議長は、大仙市地域自治区の設置等に関する条例8条第4項の規定により、鈴木会長にお願いいたします。

鈴木 会長

それでは、会議を始めます。

本日、伊藤委員、工藤委員、黒川委員、齊藤亘委員、佐々木康浩委員、鈴木美保委員から欠席の届けが出されております。

大仙市地域自治区の設置等に関する条例8条第2項の規定により、委員の2分の1以上が出席しておりますので、今回の協議会は成立することを報告させていただきます。

次に会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、神岡地域協議会運営規程第7条第2項により、5番今野委員と6番齊藤恵子委員にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

早速ですが、議題の1に移ります。議題の1、地域枠予算の事業について2件が申請されておりますので、事業について協議したいと思

っております。

申請事業について事務局の方からお願いします。

5. 事務局より地域協議会の概要について説明

【以下の事柄について説明 小田原主幹】

○ 地域枠予算活用事業申請 2件

- ・神岡地区自治会連合会
- ・神岡地域花壇連絡協議会

鈴木 会長 只今の2件の申請事業について説明いただきました。それでは、始めに神岡地区自治会連合会からの申請事業について、皆さんからご意見ご質問、よろしくをお願いします。

自治会会長さんの齊藤さん、何か付け加えることがありましたらお願いします。

齊藤 功委員 付け加えるといいますか、当町では自治会連合会の他に自主防災組織連合会というのもございます。その自主防災の予算が0円ですが、自治連と活動が一緒になるということで、総会の際に了承を得まして、自治連から補助することにいたしました。自治連の役員がそのまま自主防災の役員となっております。そして、例えば今年、防災士の資格を取る方に対しても、去年は自主防災の方から個人に負担金の3千円を補助してまいりましたけれども、その団体の予算がなくなるということで、今年は自治連の方から個人負担3千円分を補助することに決定いたしましたことを報告いたします。以上です。

鈴木 会長 ありがとうございます。自主防災と自治会が一緒になって今後、活動するということでした。

この件に関しまして皆さんから質問がありましたらよろしくをお願いします。

対話集会というのは、この地域は他の地域と違って先駆地域でありまして、各自治会、自治連合会をとおして、市に陳情するということになっております。おかげさまで、大分意見が取り入れられるようになり、改善してまいりました。

他にありませんか。なければこの件に関して承認してよろしいでしょうか。

【「異議なし」の声あり】

鈴木 会長 ありがとうございます。次にもう一つの花壇連絡協議会についてですがいかがでしょうか。昨年と比べて予算はどうでしょうか。

事務局 昨年と大体同額です。510円ほど予算アップですので、同額と考えていただきたいと思います。

鈴木 会長 今年からでしょうか、2社からの見積をもらって安い方の業者を採用するというのは。

伊藤 支所長 以前委員でありました進藤さんがこの事業を始めまして、一昨年あたりから複数の業者さんから見積云々ということもこの協議会の中で話し合われています。
昨年から業者2社から見積をもらい対応しているところです。

鈴木 会長 旧北神小学校、音楽交流館の花壇ですけれども、以前必要ないという意見もありましたが、利用団体も多く、練習したり、交流会を開いたりしているようなので、やって良かったなという気持ちです。
肥料代も全て入札ということですか？

伊藤 支所長 2社見積合わせをしまして、全て込みの金額となっております。

鈴木 会長 当初から地域枠予算を使って進めてまいりました事業です。
他にありませんか。それでは、地域花壇事業について承認してよろしいでしょうか。

【「異議なし」の声あり】

鈴木 会長 以上で地域枠予算の申請事業に関する議題を終了します。
続きまして、議題の2に移ります。大仙市小規模・高齢化集落等コミュニティ対策に係る意見書の承認について協議したいと思います。
事務局から説明をお願いします。

【以下の事柄について説明 小田原主幹】

- 地域・集落の特性に応じた活性化対策
 - ・コミュニティ機能の低下について
 - ・人口減少や高齢化による集落機能の低下について
 - ・農業従事者の高齢化や後継者不足について
 - ・地域資源の活用について
- 地域・集落の特性に応じた生活対策
 - ・高齢者等の生活支援について
 - ・医療や福祉、防災など住民の安全・安心の確保について

鈴木 会長 この大仙市小規模・高齢化集落等コミュニティ対策に係る意見書についていかがいたしましょうか。福祉・農業・産業まで多彩にわたっての提言書でございます。この提言書はどのような形で市の施策に応用されるのか説明をお願いいたします。

総合政策課 高橋主席主査

各地域協議会から意見書を提案していただいております。意見書に関しましては、大仙市小規模・高齢化等集落コミュニティ会議ということで、こちらの齊藤博伸委員も委員の一人となっておりますけれど

も、そちらの会議に意見書を提出いたしまして、その会議の中で更に協議・検討をし、最終的には小規模・高齢化等集落対策会議から提言書として市へ提出するという運びとなります。その提言書をもとにし、市でさまざまな施策等を検討いたしまして施策を実施していくといった流れとなっております。

鈴木 会長 神岡地区協議会の意見書として提出してよろしいでしょうか。

【「異議なし」の声あり】

鈴木 会長 ありがとうございます。次に「がんばる集落」活性化事業について説明をお願いします。

【以下の事柄について説明 戸澤主任】
「がんばる集落」活性化支援事業とは

鈴木 会長 募集期間が、4月から5月15日までとなっておりますが、来年度はないということでしょうか。

総合政策課 高橋主席主査 こちらの事業ですけれども27年度までの事業となっております。

鈴木 会長 当町では、岳見町内会で利用したようです。大変良い事業だと思います。皆さんから質問はありませんか。

齊藤 功委員 質問させていただきます。北檜岡地区の旧北神小学校には北神太鼓という伝統的なものがございます。40代位の方で北神太鼓を習った方もいて、町を活性化させるために若い世代が太鼓塾みたいなものを開いて、次世代の人たちを集めて交流して町を盛り上げていきたいという動きがあります。もしそのような活動の時は、初期的経費に太鼓購入費など、この事業を利用することができるでしょうか。

総合政策課 高橋主席主査

今お話にありました太鼓活動事業ですけれども、初期的経費ということであくまでも初年度の準備経費が対象になります。太鼓に関しましては、備品の購入費が一点につき20万円以内と要綱にございます。地域の伝統行事の継承であれば、事業の対象になります。対象が複数の集落が一緒になって事業を行う場合、補助上限が100万円になります。40戸以下の集落の補助上限は、70万円になります。集落対象者によっても変わってきますので、よろしくお願いたします。

鈴木 会長 このような事業は、年度をまたいで行うことは可能でしょうか。

総合政策課 高橋主席主査

単年度の事業となりますが、昨年度は秋に2回目の審査会を行って

おります。翌年度に行うといった場合には、当年度でいろいろな備品を準備していただきまして、翌年度、それを使って活動していただくこととなります。

鈴木 会長 是非このようなアイデアがありましたら、地域を盛り上げてもらいたいと思います。
それでは、次に入ります。平成26年度神岡支所主要事業の概要について説明をお願いします。

【以下の事柄について説明 市民サービス課長、農林建設課長、神岡中央公民館長】
平成26年度神岡支所主要事業の概要について

鈴木 会長 ありがとうございます。只今の説明につきまして、ご質問ございませんか。

齊藤 功委員 神岡球場ではさまざまな団体が多く利用していますが、球場にはAEDが備わっていないと常々感じておりました。他の球場の状況は分かりませんが、500歳野球や高齢者の野球もありますので、是非AEDの設置を強くお願いしたいと思っております。

神岡中央公民館長 神岡野球場では、500歳野球や学童野球、少年野球など大きな大会が数多く開催されています。球場には常設されていませんが、大会の都度、携帯用のAEDを持参して対応しておりますので、ご理解をよろしくお願いいたします。

鈴木 会長 その他にありませんか。

佐々木 徹 委員 農林建設課に伺いたい。農林水産関係森林病虫害駆除（アメシロ）は元から市で行っていた事業でしょうか。

農林建設課長 アメシロ防除につきましては、市内・地域によって対応がさまざまです。この地域では、各自治会から協力をもらいまして、薬剤と機械についてはこちらで提供して、実際の散布については自治会にお願いしています。地域によっては全て個人で行っているところもございます。

齊藤博伸委員 有害鳥獣駆除の対策費として金額が空欄になっていますが。

農林建設課長 有害鳥獣駆除に関しましては、地区毎に猟友会にお願いしておりましたが、今年度から大仙市一本になりまして、大仙市としての予算となっております。

鈴木幸一委員 町内会館の屋根の葺き替えは、補助の対象となるものですか。

支所長 一件あたり30万円以上の場合は、補助対象となります。30万円未満は対象になりません。

鈴木幸一委員 本郷会館ですが、平成元年に新築しました。屋根のペンキ等は塗ってはおりますが、そろそろ葺き替えの方がよいという意見がでております。町内の予算もないもので、市からの補助を受けられるものでしょうか。

支所長 本郷会館の屋根の大きさからすると100万円前後はかかるるかもしれませんが、その際は、市民サービス課へ相談においでください。

鈴木 会長 5月28日のチャレンジデーは全国的に行われるのですか？この辺は農家が多いため、農作業に従事している時期であるため、このあたりには合わない時期のようです。

神岡中央公民館長 農作業でも15分の運動に当てはまりますので、どうぞ自己申告してください。

鈴木 会長 この他に協議事項がありましたらお願いします。

齊藤由紀委員 以前にもこの場でお話しましたが、神岡地区の児童クラブの場所についてです。今回は、給食センターが統合されたらその場所に改修、設置という案もありましたが、その後、どのように話が進んでいるのか伺いたいと思います。

支所長 児童クラブについては、平成24年度第1回地域協議会の時に質問がありました。旧神宮寺小学校と旧北神小学校が平成24年4月から統合となり、開校1か月前の24年3月1日から放課後児童クラブが福祉センター1階に移転されました。第1回地域協議会に参加されていた老松副市長から西部地区の学校給食センターが西仙北地区周辺に移転される可能性があり、将来的には神岡の給食センターを改修して、放課後児童クラブも想定されるという話がありました。昨年度の案としては、給食センターを改修する方法と、学校職員の駐車場スペースにするという話がありました。現在は、旧かみおか幼稚園跡地に新しく放課後児童クラブを新築する可能性もありとの案もでております。

在籍45人定員の児童クラブですが、実際は58人利用しております。この後、市長、副市長はじめ、本庁各課といろいろ相談しながら早期に方向性を定めて行きたいと思っております。

石山美恵子委員 私が児童クラブに係わって6年くらいになりますが、その当時は30人前後だったのが、今では倍の児童たちが利用しています。登録している人が58人で、毎日その58人が利用することはないですが、50人前後は利用しております。そのうち1年生は20人です。

現在の場所ですが、2部屋借りてますが、1つは勉強やおやつを食べる部屋で、保健指導室が遊び場となっています。2・3年生が走り回ると1年生は遊ばなくて我慢をしている状態です。戸外で遊ぶわけ

にもいかないので、早急に対応してほしいと思います。

市民サービス課長 現在の58人は、神岡小学校3年生までの約50%の児童が利用していることとなります。今年度から4年生以上も受入可能となっておりますけれども、4年生以上の申し込みはありませんでした。

先日、平成25年度に大仙市内で、仙北地域にひまわり児童クラブ、大曲地域に花園児童センターが新築されたので、視察に行つて来ました。新築された児童クラブは、ワンフロアしかなく、子どもたちが自由に走ったりできるスペースはありませんでした。

今現在、支所が問題としていることは、学校から福祉センターへの移動距離です。大曲地区は学校付近だけでは賄いきれないため、幸町の児童クラブを利用する子どもさんもいらっしゃいますが、神岡地域も下校時見守る体勢がないことが一番心配されている部分です。その為、学校に隣接したところに移転したいと思っていますところです。

鈴木 会長 その他にありますか。副市長も出席されていますので、ぜひこの機会に意見等ありませんか。

佐々木 徹 委員 間倉から神岡の築堤について伺います。いつ頃を目処に築堤の完成を予定しているのか教えてください。

久米副市長 間倉築堤は以前から継続して要望の高い課題です。現在、太陽環境保全との交渉が10数年と難航しているところです。10年かけてやっと、交渉の場を持てるところまで来ていますが、問題は補償金です。国土交通省からの算定と太陽環境保全からの算定と具体的な金額の提示には至っていないようです。ですが、以前からすると前進してきています。昨年度から、大型土嚢を用意して緊急時はその土嚢で閉鎖するという対応を行ってきているわけです。当面はこの状態で交渉を進めていくというかたちです。

現在雄物川は、無堤地域が多いですが、西仙、南外、協和地区はここ2、3年で整備が進んできています。この河川の整備費については、国でも力を入れていますので、太陽環境保全との交渉が前進すると直ぐにでも取り掛かるという状況です。

鈴木 会長 他にありませんか。時間も大分経っておりますので、これをもちまして第1回神岡地域協議会を閉じたいと思います。
大変ありがとうございました。

この会議録は、神岡地域協議会運営規定第7条第2項の規定により会議の次第を記載し、これに相違ないことを証明するために署名をする。

平成26年 6月30日

会議録署名委員 今 野 公 行

会議録署名委員 齊 藤 恵 子